

公益社団法人ガールスカウト日本連盟主催 国際ガールズメッセ
野田 聖子大臣 祝辞

本日、日本のガールスカウト運動 100 周年事業「国際ガールズメッセ」が開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

ジェンダー平等は、日本国政府の重要で確固たる方針です。国際的にも共有されている守るべき規範でもあります。グローバル化が進む中、ジェンダー平等が進んでいる国では、女性が活躍しやすく、世界中から多くの女性を惹き付けることができます。しかし、世界経済フォーラムが発表している最新の「ジェンダー・ギャップ指数」において、日本は 156 か国中 120 位と大変残念な状況です。

我が国の持続的な成長と発展のためには、世界を舞台に生き生きと活躍する女性の力が必要です。

そのためには、若いうちから、自ら考え、行動するための心身の鍛錬・人間性の涵養を行うことが、非常に重要であると考えています。

ガールスカウト活動の狙いは、少女と若い女性が、リーダーシップを発揮する機会を早くから経験し、自ら社会を変えて行く意欲と能力を身につけることであると、理解しています。

各国におけるガールスカウトの取組により、多くの女性が社会で力を発揮し、リーダーとして活躍することを期待します。

最近、若い世代で、ジェンダー平等、ダイバーシティに取り組む女性が増え、SNSで署名を集め、活発に活動しています。

昨年、第5次男女共同参画基本計画を策定した際にも、若い世代の方々からたくさんの御意見をいただき、その内容をできる限り計画に反映させたと聞いております。政治や行政は若い皆さんの声を待っています。一緒によりよい社会をつくっていきましょう。

私どもも、これからを生きる若い女性たちがもっと活躍しやすい社会を目指して、しっかり問題提起をし、日本政府のなかで良い化学反応を起こして政策をイノベーションしてまいりたいと思います。

最後に、本会議の開催に当たり御尽力されました関係者の方々に敬意を表しますとともに、皆様にとって本会議が実り多きものとなりますよう、心より祈念しまして、私の挨拶といたします。

令和3年10月10日
内閣府特命担当大臣（男女共同参画） 野田 聖子